

保健室だより

6年生号



令和7年12月22日
本地小学校保健室

～薬物乱用防止教室を実施しました～

12月18日(木)に、6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。

当日は、学校薬剤師の門枡順雅先生(壬生薬局)を講師にお迎えし、薬の正しい使い方や、薬物乱用の危険性について分かりやすくお話しいただきました。当日の授業を思い出しながら、どんなことを学んだのか、一緒に振り返ってみましょう。



【薬物乱用とは】

薬物乱用とは、治療目的ではなく、決められた使い方を守らずに薬物を使うことです。

Point! 覚せい剤や大麻などの違法薬物は、使わなくても、持っているだけで法律違反になります。



【「少しだけ」「一回だけ」はありません。】

違法薬物は使っても一時的な満足感しか得られず、その後、心や体に大きなダメージを与えます。

また、依存してしまい、自分の意思ではやめられなくなります。

Point! 身近なかぜ薬や痛み止めても、量や回数を守らなければ乱用になります。

地球グミを使った実験



【自分を守るために大切なこと】

☆薬は決められた量・回数・使い方を守る。

☆「すすめられても、きっぱり断る勇気」をもつ。

☆困ったときや不安なときは、すぐに大人に相談する。

・断る ・通報する
・努力でどうにかなると励ます など

ロールプレイング



Point! REALの法則

Refuse(断る)

Explain(伝える)

Avoid(避ける)

Leave(立ち去る)

だめなものは、だめ」と言えることは、自分を守る大きな力です。「一度」が、未来を変えてしまうことがあります。みなさんの命と健康は何より大切です。自分の命と健康を守る選択を大切にしましょう。



藤井先生より

保護者の皆様へ

思春期を迎える6年生は、これから様々な情報や誘惑に触れる機会が増えていきます。

ご家庭でもぜひ、今回の教室について話題にいただき、薬の使い方や「自分を守る選択」について考える機会としていただければと思います。これからも学校では、子どもたちが自分の健康と命を大切にできる力を育てていきたいとおもいますので、ご協力の程よろしくお願いたします。